

製品名: ERCC4 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab10581**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	103kDa

抗原情報

遺伝子名	ERCC4 ERCC4; ERCC11; XPF; DNA repair endonuclease XPF; DNA excision repair protein ERCC-4;
別名	DNA repair protein complementing XP-F cells; Xeroderma pigmentosum group F-complementing protein
遺伝子 ID	2072.0
SwissProt ID	Q92889
免疫原	抗血清はヒト XPF 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 801-850

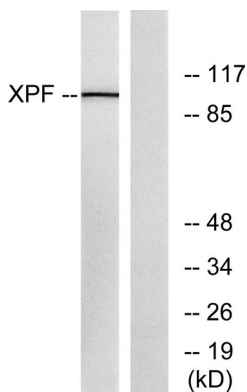
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は ERCC1 と複合体を形成し、ヌクレオチド除去修復の際に行われる 5'切断に関与する。この複合体は構造特異的な DNA 修復エンドヌクレアーゼであり、EME1 と相互作用する。この遺伝子の欠陥は、色素性乾皮症相補群 F (XP-F)、または色素性乾皮症 VI (XP6) の原因となる。[RefSeq 提供、2009 年 3 月]、補因子: マグネシウム。、疾患: ERCC4 の欠陥は、XFE 早老症候群[MIM:610965]の原因となる。この症候群は、小人症、悪液質、小頭症を呈した 1 人の患者によって実証されている。、疾患: ERCC4 の欠陥は、色素性乾皮症相補群 F (XP-F) [MIM:278760]の原因となる。色素性乾皮症 VI (XP6) としても知られる。XP-F は常染色体劣性遺伝性疾患で、皮膚の日光過敏症を特徴とし、その後、皮膚がんの高頻度発症と神経学的異常が頻繁に認められる。、機能: 構造特異的な DNA 修復エンドヌクレアーゼ。DNA 修復における 5'切断を担う。相同組換えに関与し、鎖間架橋の除去を助ける。、類似性: XPF ファミリーに属する。、サブユニット: ERCC1 と XPF/ERCC4 からなるヘテロ二量体。EME1 と相互作用する。、

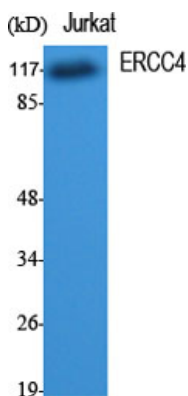
研究分野

ヌクレオチド除去修復;

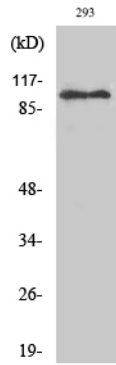
画像データ



XPF 抗体を用いた 293 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



ERCC4 ポリクローナル抗体を使用したさまざまな細胞のウェスタンブロット分析。



ERCC4 ポリクローナル抗体を使用した 293 細胞のウエスタン ブロット解析。